



志村坂下小だより

6月号 令和6年5月31日
東京都板橋区立志村坂下小学校

「FLC学びのエリア」(fight・learn・clean)「志四中」「坂下小」「緑小」「志村小」「北前野小」

校長 松野 薫子

目指す児童・生徒像＝「よく考え進んで学ぶ子ども」「心豊かで思いやりのある子ども」「ねばり強くたくましい子ども」

経験に裏打ちされた知識を

校長 松野 薫子

「坂スポ 2024」にご来場いただき、ありがとうございました。天気予報を上回る暑さでしたが、真っ青な空の下、皆さまからの大きな声援や拍手を受け、子供たちは大きな力を発揮できたと思います。教室に戻る子供たちの笑顔には、やりきった晴れやかさが感じられました。

6年生が、6月12日から14日まで日光移動教室に行ってきます。日光は、華嚴の滝や戦場ヶ原に代表される豊かな自然にあふれるだけでなく、徳川家康の墓所として建立された東照宮などの歴史的建造物も並ぶ観光名所です。ここで2泊3日、学校を離れて東京ではできない体験をしてくるのです。

「移動教室」という名称からわかるように、学習の一環として教室を出て観察や体験を行う活動で、単なる旅行ではありません。現地では、高原の木道を歩いて雄大な景色や植物などを見ることができます。豊かな自然だけではなく、江戸時代の名工や絵師たちの技術が今に伝えられる東照宮を見学して、歴史の一局面に身を置くこともできます。また、伝統工芸品である日光彫の体験をする活動など、普段はあまりできないような経験ができます。

私が子供の時の移動教室でも、日光に行きました。東照宮陽明門の美しさに目を奪われたことや、華嚴の滝の水しぶきの迫力など、50年近く前のことを今でも思い出すことができますし、その時に得られた知識がきっかけで、興味・関心が広がった分野もあります。

このように、経験から学ぶことはとても大切ですが、友達と一緒に、共通で実体験をすることでその学びが一層印象深くなることが、学校の教育活動として移動教室に行くことの良さなのです。

移動教室ではありません。1年生は学校でアサガオを育てています。「芽が出た」「つるが伸びた」「花が咲いた」という初めての経験を、生活科では絵や文にして記録します。お友達みんなで同じ体験をすることで学んだことが共有化され、その体験を共通の材料として話し合ったりまとめたりする学習活動が広がっていきます。

学校の中にも、聞いて学ぶ、見て学ぶだけでなく、体験して学ぶ場面がたくさんあります。本を読んだり話を聞いたりして想像し、考えることも重要ですが、実際に行ってみたり、物を作ったり植物を育てたりする中で気がついていく機会、理解していく機会を授業の中でも増やしたいものです。このようにして得られた「経験に裏打ちされた知識」は、文字通り身に染みて定着するとともに、違う場面でもそれを応用して考えることのできる手段として、一人一人の財産になるからです。

<志村坂下小コミュニティ・スクール委員会 委員の皆様のご紹介>

今年度のコミュニティ・スクール委員会委員の皆様をご紹介します。

高橋 友人	様	(蓮根南町会)
堀田 薫	様	(坂下一丁目南町会会長)
井上菜穂子	様	(学校支援地域本部コーディネーター)
西田 佳子	様	(学校支援地域本部コーディネーター)
渡邊 正知	様	(本校元 PTA 会長・学校開放協力会長)
川口 徹	様	(本校元 PTA 会長)
松澤 公子	様	(本校元 PTA 会長)
有村 裕子	様	(坂下一丁目南町会)
保々 裕介	様	(相生保育園長)
永田 大祐	様	(本校 PTA 会長)

5月13日(月)に第1回のコミュニティ・スクール委員会を開催いたしました。次回は7月22日(月)に開催し、教員との熟議を予定しています。委員の皆様方におかれましては、本校の子供たちのために、考え、活動していただき、大変感謝しております。今年度もよろしくお願いいたします。